研修報告書(個人)

報告書作成日:　2025 年 8 月 26 日

氏　　名		研修実施期間
村上 理子		2025 年 8 月 22 日～ 8 月 24 日
研修実施機関名	研　修　名	研修実施場所
一般社団法人 日本認知・行動療法学会	日本認知・行動療法学会 第 51 回	大阪国際会議場

研修内容 (参加セッション名)	WS6 認知行動療法を構成する基本技法 WS7 はじめての認知療法 特別講演 1 我が国におけるポジティブ行動支援のこれまでとこれから 教育講演 2 古典的条件づけ理論から見た私たちの行動 教育講演 3 発達障害を克服するには～小児科医の考えること～ 教育講演 4 行動療法、認知療法、認知行動療法を基礎づける－私たちはこころをどう捉えるかー 自主企画シンポジウム 16 休職者への認知行動療法－適切なリワーク支援とはー ポスターセッション
特に印象に 残ったセッション について	内容: 各事業所で、プログラム内容や職場連携、再休職ケースに困難感を抱え模索しているとのこと。職場側の意見として、職場が求める身体機能の回復、職場で働けるスキの獲得ができていることを求めている。集団プログラムを実施するだけでなく、プログラムで習ったスキルを実際にどのように活かすことができるかまで考えることが必要。また、復帰訓練を進める上で、「本人が、意味があると思っているか」という内発的動機付けが重要。リワーク支援は、復帰して終了ではなく、復帰後のフォローアップ支援があることが重要であり、訓練で獲得したスキルと使うことができているかどうかを確認することで効果が出てくる。 学んだこと・気づき: 福祉・医療リワークともに、プログラム運営や連携の悩みがあることを知った。職場が求める身体機能の回復に向けた訓練の少なさを実感した。本人の内発動機づけを高め、プログラム内容の汎化を促す工夫が必要であると感じた。
特 記 事 項 ・ 連 絡 事 項	